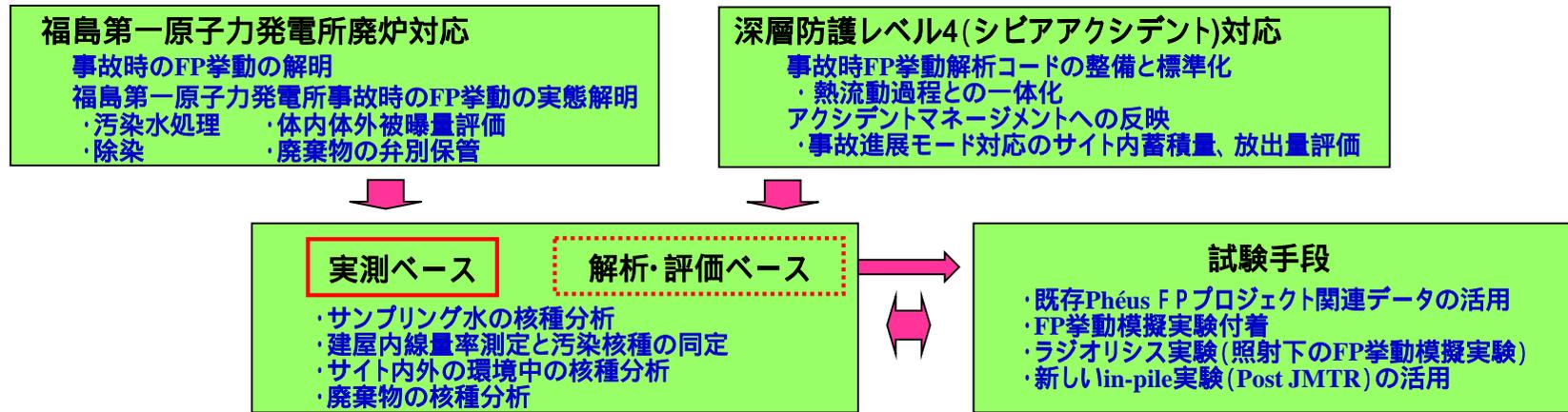


## 必要性



## 現状分析

事故時のFP挙動の解明: ・燃料からのFP放出の知見は豊富(ORIGENコード)  
 福島第一原子力発電所事故時のFP挙動の実態解明:  
 ・FPの汚染水あるいは環境への放出経路不明確  
 ・Phébus FPプロジェクト実験、関連基礎実験の成果の有効活用が必要  
 事故時FP挙動解析コードの整備と標準化: ・熱流動過程との一体化要  
 アクシデントマネジメントへの反映: ・サイト内蓄積量、放出量評価

Phébus FPプロジェクト実験 => 実機事故  
 スケールアップの問題だけでなく、  
 基本的な知見欠如が露呈  
 従来知見の再整理と新たな課題の再整理  
 実機データ収集と事象の評価  
 問題の本質の洗い出し  
 新たな実験、解析の提案と実施

## 研究方針

シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動  
 研究専門委員会(長期継続の予定)

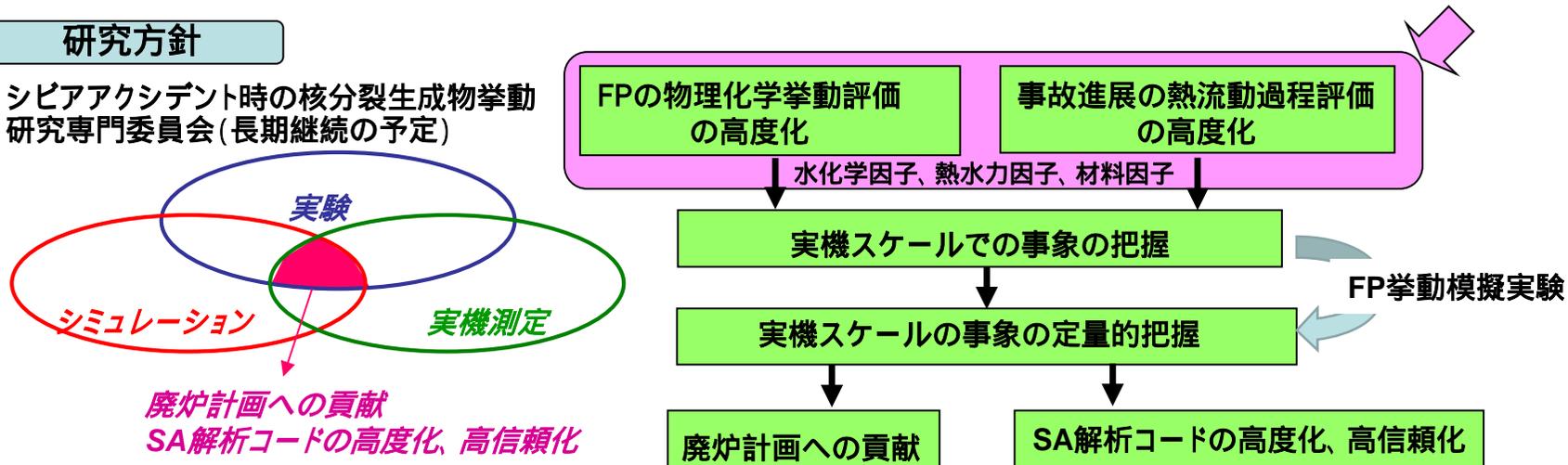


図 7.1.2-4 FP 挙動関連の研究の必要性、現状分析及び研究方針